
長中魂



平成30年11月6日(火)

第11号

伊豆の国市立長岡中学校だより

文責 土屋 徳男

H30年度 全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の主な結果についてお知らせいたします。表は、本校と県、全国の平均正答率を比較した結果です。

【県・全国平均を上回っていれば◎、同じならば○、若干下回っていれば△、下回っていれば▲】

| 科目 | 県平均比較 | 全国平均比較 |
|--------------|-------|--------|
| 国語A (主として知識) | △ | ○ |
| 国語B (主として活用) | ▲ | ▲ |
| 数学A (主として知識) | △ | ○ |
| 数学B (主として活用) | ▲ | △ |
| 理科 | △ | ○ |

全国平均と比較すると、国語A・数学Aは同じで、国語Bは下回り、数学Bが若干下回りました。県平均と比較すると、国語A、数学Aは若干下回り、国語B、数学Bがある程度下回りました。理科は、1年おきを実施されますが、全国平均とは同じで、県平均よりは若干下回りました。大きく見れば、国語A・数学A、理科については県平均以下であるものの、全国平均程度、国語B、数学Bは、県と全国平均以下という結果となりました。結果の分析は以下で示し、それに基づいて改善を図っていききたいと思います。

全国学力状況調査から見て取れるのは、4月時点における学力の一部であり、また、本調査に取り組んだ一人一人の生徒に成果と課題が存在します。この結果に一喜一憂することなく、今後も地道に生徒一人一人の「確かな学力の育成」に努めていきます。

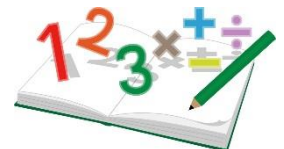
<国語の分析>

- ・漢字の読み書きでは、ほとんどすべての問題で、県・全国の平均を上回っている。
- ・漢字を書く問題では、県や全国平均よりは少ないものの、無回答が1割を超えている。
- ・「文脈の中で語句の意味をとらえる」ことはよくできている。
- ・「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」の正答率が全般的に低い。
- ・「話し合いの話題や方向を捉える」の問題では正答率が低い。
- ・「情報を整理して伝える」、「構成を考えて文を書く」でも正答率が低く、書くこと、話すことの表現の力を付けていく必要がある。
- ・文章を読んで内容をとらえ、グラフを選んだり、自分の考えを持つたりする問題の正答率がかなり低い。
- ・登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる、相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く、などの問題の正答率もかなり低い。特に書く問題では、無回答が15%近くになっている。



<数学の分析>

- ・正負の計算、文字式、等式変形、一次方程式などの基礎的な技能は身につけている。
- ・線対称や点対称、図形の見取りなどは高い正答率であった。
- ・証明の意味を理解する正答率は、県・全国の平均よりかなり高くなっている。
- ・関数のグラフ、連立二元一次方程式、確率の問題では、正答率がかなり低い。
- ・問題解決の方法を数学的に説明する正答率は極端に低い。
- ・証明されたことを活用したり、条件を変えたりして考える問題の正答率は低い。
- ・問題文の意味を十分に理解できていない生徒が少なくないかもしれない。



<理科の分析>

- ・ガスバーナーの操作、原子・分子モデルについての知識はかなり身につけている。
- ・実験計画を立てる、観測記録の方法を考える、データの考察など、知識を活用する問題は正答率が低い。
- ・新たな疑問を見いだしたり、関係を見つけたりといった自然事象への関心や科学的な思考力が低い。



【今後の取り組みについて】

<国語>

- ・教科書の文章だけでなく、資料や新聞のコラムなどを読み、活用する授業を増やしていきます。
- ・幅広い分野の本を読み、あらすじを的確に捉えたり、登場人物の様々な心情にふれたりするよう読書指導を行います。

<数学>

- ・問題を解くだけでなく、なぜそうなるのか等、自分の考えや根拠を数学の用語を使って伝える場面を設定していきます。
- ・身近な事象について、グラフや式、表、確率などで関係を表現する活動を通して、数量関係についての確実な理解、定着を図っていきます。

<理科>

- ・指示された実験だけでなく、自ら実験を考え計画し、実践する授業を年間計画に何回か位置づけて実行していきます。
- ・振り返りの時間を充実させ、新たな疑問を共有したり、生活にどのように活かしているのかを話し合ったりするような場面を設定していきます。

生徒質問紙の回答状況について

【県・全国平均を上回っていれば◎、同じならば○、若干下回っていれば△、下回っていれば▲】

| 項目 | 県平均比較 | 全国平均比較 |
|------------|-------|--------|
| 読書や新聞への関心等 | ○ | ◎ |
| 数学への関心等 | ◎ | ◎ |
| 理科への関心等 | ◎ | ◎ |
| 地域活動への関心等 | ▲ | ○ |
| 規範意識 | ○ | ○ |
| 課題解決への取り組み | ◎ | ◎ |
| 自尊感情 | ○ | ○ |
| 言語活動・読解力 | ○ | ○ |
| 生活習慣 | ▲ | ▲ |
| 学習習慣 | ○ | ○ |

【分析と今後の取り組みについて】

「自分にはよいところがある」、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」では、当てはまると答えた生徒は県・全国よりかなり多い。しかし、どちらかと言えば当てはまるまでを含めると、全国よりは多いものの、県平均よりは少なくなっている。「**自尊感情**」が、高い生徒が多い一方で、それほど高くはない生徒も、ある程度いることがわかった。行事や学級の活動、生徒会活動等を通して、さらに活躍の場を増やし、やり遂げた達成感が味わえるように努め、また教員や保護者、地域の方から認められる経験を増やして、自尊感情をさらに高めていきたい。

「**規範意識**」については、「学校の規則を守っている」と答えた生徒の割合は全国平均、県平均とほぼ同じで、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」生徒は全国平均、県平均よりやや少ない。これまで、生徒会を中心に、「長中魂」の「た・ま・し・い」を意識して生活することを推し進めてきたが、力を入れてきた上級生が卒業し、その意識がやや低くなってきているのかもしれない。今後、道徳教育の充実及び「長中魂」を心の支柱とする生徒会であるようにさらに支援したい。

「**生活習慣**」については、「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と答える生徒が全国平均、県平均よりも少ない。放課後や休日の過ごし方を見ると、習い事や塾、部活動などのスポーツの割合が県や全国平均よりやや多いが、テレビやゲーム、インターネットなどの割合は同じくらいである。時間の使い方を工夫し、就寝時間を規則的にすることで睡眠を確保し、また朝食を食べられる時間に起こることができるようになると思われる。保護者の皆さまと連携していきたい。

「**学習習慣**」については、「普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」については、県平均、全国平均よりも長い時間、家庭学習や塾での学習に取り組んでいる生徒の割合が多い。特に3時間以上と答えている生徒は、県・全国平均の2倍以上いる。

土曜日、日曜日においてはほぼ県・全国平均と同様である。「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答える生徒の割合は、県、全国平均と同様であるが、約半数しかない。より主体的な学習の取り組みとなるように指導したい。

